

英国独立学派の講読セミナーPartVIII

1990 年代前後の文献を中心に

本セミナーのご案内：1940 年代の英国において、学派・理論の相違に始まる現代フロイト学派とクライン派の間に起きた大論争は、独立学派（中間学派）を産み落とした。それは i) 党派性にとらわれないという、自由・独立を旨とした分析家の立ち位置とともに、ii) S. フロイトの時代に遡ってフェレンツイ、M. バリント、フェアバーンらを出発点として幅広い精神分析理論を束ねる「学派」を形成して現代に至っている。初年度は独立学派の対象関係、創造性、早期の情緒発達、セクシュアリティ、技法論といったトピックに関連した主要論文を、開講 2 年度はレイナーによるテキストを手がかりに、体系的な理解を目指した。3 年度はウィニコットを取り上げ、『ウィニコット用語辞典』を手掛かりに主要論文を読んだ。4 年目のボラスを経て 5 年目から T. オグデンを取り上げ関連する他の著者による文献を交えて多層的な理解を深めている。8 年目の本年も引き続きオグデンを中心に、ボラスの振り返り、他の独立学派の論文を読んでいきたい。

各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

対 象： フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・講読セミナーの受講経験が有る専門家

日 程： 5 月から原則第 4 日曜日、全 10 回（12 月除く）
2026 年 5 月 24 日、6 月 28 日、7 月 26 日、8 月 23 日、9 月 27 日、10 月 25 日、
11 月 22 日、2027 年 1 月 24 日、2 月 28 日、3 月 28 日

時 間： 午前 10 時 30 分から午後 1 時まで

場 所： クリニックおくでら（小田急線小田原線 経堂駅 徒歩 5 分）

セミナーリーダー： 奥寺 崇

受 講 料： 40,000 円

定 員： ハイブリッド（会場参加は最大 10 名）

参照論文・文献： その都度次回分までを指定し配布する。

申 込 方 法： 下記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/eEghsWquBXw9Psfw9>



申 込 期 間： 2026 年 3 月 24 日（火）～5 月 10 日（日）

問 い 合 わ せ： 小寺財団事務局 kodera.fps@gmail.com